

科目		動物臨床検査学実習 I		
担当講師 中村あゆみ				
実務経験有 統一認定動物看護師 高校卒業後動物病院に 20 年間勤務し動物医療に従事				
開講年次	授業形態	選択/必修		授業時間
動物看護、動物管理学科 1 年次後期	講義	必修		30
授業目標 講義で習得した知識の実践と、診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し、基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。各検査機器の正しい扱い方、正常値、異常値の理解ができるようにする。				
授業概要 血液検査、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図検査、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査等				
成績評価の方法 成績評価の方法 評価の基準は実習レポートと筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。				
教材 <ul style="list-style-type: none"> 動物看護の実践（ファームプレス） 動物看護実習テキスト（インターズー） 				
授業計画 毎週月曜日 3 限目 13：20～14：50				
回	授業内容			
1	臨床検査概論①	検査の種類と目的		
2	臨床検査概論②	検体検査（血液検査、骨髓検査、尿検査、糞便検査）		
3	顕微鏡	概論、名称、倍率、条件、操作法、メンテナンス		
4	検体検査①	血液採取法、処理・保存法、血液凝固剤の種類と特徴		
5	検体検査②	尿採取法と保存法、採便法と保存法、貯留液の採取・保存法		
6	血液検査①	CBC、血液塗標本、生化学検査、輸血、クロスマッチ		
7	血液検査②	住血寄生虫検査、免疫学的検査、凝固系検査		
8	尿検査	概論、物理的性状検査、科学的検査、顕微鏡学的検査		
9	糞便検査①	概論、物理学的性状検査、顕微鏡学的検査、免疫学的検査		
10	糞便検査②	概論、物理学的性状検査、顕微鏡学的検査、免疫学的検査		
11	細胞診検査	概論、検体採取法、検体保存法、スミア作成		
12	微生物学的検査①	細菌、真菌培養、標本作成法、菌の固定、		
13	微生物学的検査②	細菌、真菌培養、標本作成法、菌の固定、		
14	前期まとめ	前期のまとめのテストを行う		